

国際医療協力は もっと身近なところに

山本 太郎 氏

長崎大学熱帯医学研究所 国際保健学分野 主任教授

国際医療協力経験

1999~00年……ジンバブエ(JICAジンバブエ感染症対策プロジェクト)
2003~04年……ハイチ(カボジ肉腫・日和見感染症研究所)



マラリア検査を受ける女の子(ベトナム・ナラハム県)。

「研究」と実践のどちらかに偏るのではなく、2つを同じ比重でリンクさせながら国際医療協力に取り組む。それが、長崎大学熱帯医学研究所教授の山本太郎氏の理想だという。長崎大学医学部を卒業後、市立札幌病院で1年間、救命救急センターの研修医として最前線の臨床を学ぶ。研修を終えると、長崎大学医学部細菌学教室の大学院生としてウイルスの研究を開始した。

当時、アフリカではエイズが大流行し始めていた。「もしかして21世紀はアフリカに人が住めなくなるかもしれない。そんな悲観論さえささやかれていました。それが私の興味をエイズ研究やアフリカ、開発途上国へと駆り立てることになりました。」

国際保健という学問を学ぼうと東京大学大学院医学研究科へ進み、修了後、長崎大学熱帯医学研究所の助手になる。まもなく山本氏のもとに、JICAの感染症対策のチーム・リーダーとして2年間、アフリカのジンバブエに行かないかという話が舞い込んだ。初めての 본격的な海外赴任で充実した日々を送った。が、京都大学に新設された公衆衛生大学院の助教授に迎えられたため、1年での帰国となった。

しかし、国際保健を勉強し直したいという気持ちが増しに強くなり、アメリカへ行こうと決意する。そして、ハーバード大学公衆衛生大学院で研究と実践にかかわり、03年にはコーネル大学ベイル医学部からの派遣という形で、2度目の海外赴任先となるハイチへ渡った。

「ハイチはアフリカの人びとの子孫が暮らす国。しかも感染症が非常に多い。アフリカと比べてどうなのかという興味がありました。実際に行ってみると、アフリカがアジアのなかに忽然と姿を現したという感じで、不思議な気がしましたね」

HIVの母子感染予防を行いたいという明確な目標はあったが、「ただ、今度はウイルス学の立場ではなく、公衆衛生や疫学の立場も入れてやってみたいと考えていました。」

ハイチでは一人の臨床医として、また、一人の研究医として、貴重な経験を積んだ。やがて内戦が起きた。危険な状況をかいくぐりアメリカへと戻る。帰国後は外務省の国際協力局に3年間勤め、07年から長崎大学熱帯医学研究所で国際保健学分野の教授として後進の育成にあたっている。

「国際保健や国際医療協力はなにも特別なことではなく、身近なところにあるのです。地域のニーズを汲み上げて、そこに必要なものを提供するということに関しては、場所がどこであろうと変わりません。国際保健や国際医療協力は、これらをたまたま異なる文化のなかで行っているというだけで、じつはどこにでもある保健や医療の形なのです」

国際医療協力とは何か。山本氏は今も自身に問い続けている。

め、1年での帰国となった。

しかし、国際保健を勉強し直したいという気持ちが増しに強くなり、アメリカへ行こうと決意する。そして、ハーバード大学公衆衛生大学院で研究と実践にかかわり、03年にはコーネル大学ベイル医学部からの派遣という形で、2度目の海外赴任先となるハイチへ渡った。

「ハイチはアフリカの人びとの子孫が暮らす国。しかも感染症が非常に多い。アフリカと比べてどうなのかという興味がありました。実際に行ってみると、アフリカがアジアのなかに忽然と姿を現したという感じで、不思議な気がしましたね」

HIVの母子感染予防を行いたいという明確な目標はあったが、「ただ、今度はウイルス学の立場ではなく、公衆衛生や疫学の立場も入れてやってみたいと考えていました。」

ハイチでは一人の臨床医として、また、一人の研究医として、貴重な経験を積んだ。やがて内戦が起きた。危険な状況をかいくぐりアメリカへと戻る。帰国後は外務省の国際協力局に3年間勤め、07年から長崎大学熱帯医学研究所で国際保健学分野の教授として後進の育成にあたっている。

「国際保健や国際医療協力はなにも特別なことではなく、身近なところにあるのです。地域のニーズを汲み上げて、そこに必要なものを提供するということに関しては、場所がどこであろうと変わりません。国際保健や国際医療協力は、これらをたまたま異なる文化のなかで行っているというだけで、じつはどこにでもある保健や医療の形なのです」

国際医療協力とは何か。山本氏は今も自身に問い続けている。

山本 太郎
(やまもと・たろう)

1990年長崎大学医学部を卒業後、京都大学大学院医学研究科助教授、長崎大学熱帯医学研究所助教授、外務省国際協力局課長補佐等を経て、07年10月より現職。



上/国際会議の帰途、トルコ・アンカラの古代遺跡をバックに。



下/ハイチで同僚の医師と。